

# 鏡花水月

## ～水面に映る7つの芸術～

会場：洗足学園音楽大学 前田ホール

日時：2021年9月17日 金曜日

開演：18:00 / 開場：17:30

終演：20:00 予定

△新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでのご飲食はお控えください。
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

主催：洗足学園音楽大学・大学院

### 曲目

- 1 米村 麻優 (Tb) Pf. 小松 祥子  
J.カステレード(1926-2014) / トロンボーンとピアノのためのソナチネ
- 2 齋藤 要助 (Cl) Pf. 石田 多紀乃  
J.ホロヴィッツ(b.1926) / クラリネットとピアノのためのソナチネ
- 3 津吹 亮汰 (Tb) Pf. 小松 祥子  
E.エワイゼン(b.1954) / トロンボーン・ソナタ 第2楽章 第3楽章
- 4 寺島 梨湖 (Pf)  
R.シューマン(1810-1856) / 幻想曲 ハ長調 作品17より第3楽章

～休憩～

- 5 清水 涼花 (Fl) Pf. 伊藤 響子  
F.プーランク(1899-1963) / フルートとピアノのためのソナタ
- 6 神山 巧弥 (Tp) Pf. 下田 望  
O.ベーム(1870-1938) / トランペット協奏曲～短調作品18
- 7 松井 菜々子 (Mar)  
安倍圭子(b.1937) / 「愛のよろこび」モノローグ  
安倍圭子 / 道パラフレーズ～マリンバソロのための～

～ご挨拶～

本日は学内リサイタル講座「ジョイント・リサイタル」においていただき御礼申し上げます。

洗足学園音楽大学のメインステージの前田ホールで、大学4年間の集大成の演奏を披露するために選抜学生42名による6回のジョイント・リサイタルを開催する運びとなりました。各出演日の学生がそれぞれの思いで、プログラムや副題を決め、この日の為に準備をしておりました。専門コースの違いはあっても大きな会場で初めてのリサイタルを行う「責任と研究成果」を聴いていただければ大変な喜びとなります。出演学生が、その独自の構成と演出を競い、教員の講評審査を受けてこの舞台から巣立ち、現在は欧米各地に留学しコンクール入賞者や、国内外オーケストラ、教員、プレーヤーとして活躍する卒業生も多く、本学の講師として活躍するものもいるという嬉しい実績を持っております。

この演奏会を基に日本の、そして世界の楽壇へと羽ばたく彼らに応援の拍手をお願いいたします。

学内リサイタル講座 教授 渡部 亨

皆様、本日はお忙しい中「鏡花水月～水面に映る7つの芸術～」にお越しいただき誠にありがとうございます。

「鏡花水月」とは、鏡に映る美しい花、水面に映る美しい月の意味で、それらは目で見ることは出来ても、手に取ることが出来ないことを表す言葉です。それは、感じ取ることが出来ても、言葉では表すことの出来ない音楽にも通じます。私達それぞれ7人なりの音楽を感じていただけたら嬉しいです。

まだまだ不安定な情勢が続く中で、このように演奏会を開催出来るのは有難いことだと感じます。約1年半前、私達の生活が一変し多くの演奏の機会が失われ、画面越しで演奏を見る機会が増えてしまった中、やはり生演奏ならではの良さがあることを改めて強く感じました。そして、こんな時だからこそ音楽に何度も励まされ、音楽の力の偉大さにも気づきました。音楽、そしてそれを誰かと共有出来るのは素晴らしいことと思います。

今日の演奏会開催にあたり、ご指導くださる渡部先生をはじめ沢山の先生方やお手伝いくださる関係者の皆様には大変感謝しております。

学生代表 清水 涼花

～曲目解説・出演者プロフィール～

## 1 米村 麻優(Trombone)

J.カステレード / トロンボーンとピアノのためのソナチネ

第1楽章 Allegro vivo

第2楽章 Andante sostenuto

第3楽章 Allegro

ジャック・カステレードはフランス・パリ生まれの作曲家、ピアニストである。この曲は、3つの異なる楽章で構成されており、音楽的に魅力的な要素が満載だ。トロンボーンテクニックを最大限に活かした絶妙な装飾の使い方や、トロンボーンとピアノが共有するメロディーの巧な使い方など、音楽的な魅力に溢れている。生き生きとした豊かなハーモニーの一楽章、柔らかく美しい繊細な旋律の二楽章、最後の三楽章ではジャズの要素が

見られ、コラールの上にシンコペーションのリズムが重なる。各楽章でトロンボーンのあるべき姿が映し出されていく。

【プロフィール】

米村 麻優(よねむら まゆ)

福岡県出身。福岡第一高等学校音楽科卒業。12歳よりトロンボーンを始める。これまでにトロンボーンを村岡淳志、池上亘の各氏に師事。室内楽を府川雪野氏に師事。



## 2 齋藤 要助(Clarinet)



J.ホロヴィッツ / クラリネットとピアノのためのソナチネ

第1楽章 Allegro calmato

第2楽章 Lento quasi andante

第3楽章 Con brio

ジョーゼフ・ホロヴィッツはオーストリア・ウィーンに生まれ、1938年にイギリスに移住、英国王立音楽大学で作曲を学んだ。この曲は、1981年5月12日にイギリス・ロンドンのウィグモアホールで初演された。現代作品でありながら、古典的な3楽章形式になっている。第1楽章は、古典的なソナタ形式をとっている。第2楽章は、ゆっくりとした伴奏の上にメロディーが歌うように演奏される。第3楽章は、メロディーとリズムにジャズ、ラテン、ワルツとジャンルの違う3つの音楽からなり、ハーモニーは明るくとても聞きやすい。クラリネット奏者、ピアニストの両者に高度な技巧を要求する作品だ。

【プロフィール】

齋藤 要助(さいとう ようすけ)

福島県出身。福島県立相馬東高等学校卒業。10歳よりクラリネットを始める。これまでにクラリネットを大浦綾子、吉田誠、松本健司の各氏に師事。室内楽を星野均、古川原裕仁、山根公男の各氏に師事。

## 3 津吹 亮汰(Trombone)



E.エワイゼン / トロンボーン・ソナタ 第2楽章 第3楽章

第2楽章 Adagio

第3楽章 Allegro giocoso

エリック・エワイゼンはアメリカ合衆国クリーヴランド生まれの作曲家。これまで数々の管楽器のための作品を手掛け、多くの管楽器プレーヤーたちに演奏されている。この曲は、1993年の春に、氏により作曲された。この作品はアメリカのトロンボーン奏者マイケル・パウエルの委嘱を受け、彼に捧げられたもので、彼は1993年のアスペン音楽祭でこの作品についてこう語る。「トロンボーンは、黄金の響きを持つ音色と、美しいバリトンの音域を持っている、私にとって魅力的な楽器です。トロンボーンの多彩な表現を追求した作品を目指しました。」

【プロフィール】

津吹 亮汰(つぶき りょうた)

東京都出身。都立杉並高等学校卒業。10歳よりトロンボーンを始める。これまでにトロンボーンを菅貴登氏に師事。室内楽を、府川雪野、林辰則の各氏に師事。

## 4 寺島 梨湖(Piano)



R.シューマン / 幻想曲 ハ長調 作品17より第3楽章

第3楽章 Langsam getragen

全3楽章からなるこの作品は、シューマンのピアノ曲の中でも屈指の傑作と言われており、リストが中心となって計画したベートーヴェン生誕65周年を記念する記念碑建立の呼びかけに応じ、寄付の目的で1836~38年に作曲された。第2楽章とは対照的で、第3楽章は静かでゆったりとした序奏で始まり、どこまでも続く夢と祈りが一体となったかのような歌である。第1楽章でベートーヴェンの歌曲《遙かなる恋人に寄す》に似た旋律が至る所に現れるが、第3楽章にもベートーヴェンの歌曲の余韻を淡く残している。華やかな部分こそあまり無いが、大変美しく、シューマンのクララに対する永遠の愛を感じる作品である。

【プロフィール】

寺島 梨湖(てらしま りこ)

熊本県出身。ルーテル学院高等学校芸術コース卒業。3歳よりピアノを始める。これまでにピアノを谷口昌子、塩津貴子の各氏に、現在ピアノを鳥羽瀬宗一郎氏、室内楽を清水将仁氏に師事。

## 5 清水 涼花(Flute)



F.プーランク / フルートとピアノのためのソナタ

第1楽章 Allegro malinconico

第2楽章 Cantilena

第3楽章 Presto giocoso

フランシス・プーランクは、ドビュッシーが晩年にソナタ郡を残したことに習い、自身も晩年に管楽器のためのソナタを書いた。この曲はそのうちの一つであり、フランスの巨匠 J.P.ランパルのために書かれた。20世紀のフルートソナタの中でも傑作と評され、初心者からプロまで幅広く親しまれる彼の代表作となった。

急-緩-急のソナタ。13分という短い中にも沢山の表現、ドラマが込められている。特に2楽章は感慨深く、この曲の魅力はこの楽章あってこそだと思える程である。カンティレーナは「叙情的で歌うような旋律」を指す。現代の言葉で言えば「エモい」楽章だと思う。美しく儂いこの歌はまるで誰かがある人への想いを語り歌っているように感じられる。

### 【プロフィール】

清水 涼花(しみず すずか)

岐阜県出身。飛騨学園高山西高等学校卒業。2020年第25回 KOBE 国際音楽コンクール C 部門(大学生・一般)木管楽器部門奨励賞受賞。これまでにフルートを盛一明子、前田綾子、ピッコロを菅原潤の各氏に師事。室内楽を辻功、山根公男の各氏に師事。

## 6 神山 巧弥(Trumpet)



O.ベーム / トランペット協奏曲 へ短調 作品 18

第1楽章 Allegro moderato

第2楽章 Andante religioso

第3楽章 Rondo: Allegro scherzando

オスカー・ベームはドイツ生まれの作曲家、トランペット奏者である。同じくトランペット奏者であった父の手ほどきを受けて音楽を始め、ライプツィヒ音楽院でトランペットと作曲を専攻した。この曲は、メンデルスゾーンの「ヴァイオリン協奏曲 ホ短調」から影響を受けて作曲された為、このトランペット協奏曲も元々はホ短調で、A

管で演奏する前提で書かれていた。今回の演奏では B♭管を使用する為、曲全体を半音高くしたへ短調で演奏される。

### 【プロフィール】

神山 巧弥(かみやま たくみ)

栃木県出身。宇都宮短期大学附属高等学校卒業。これまでにトランペットを林美智子、長谷川智之の各氏に師事。ソルフェージュを黒尾実に師事。室内楽を佛坂咲千生に師事。

## 7 松井 菜々子(Marimba)



安倍圭子 / 「愛のよろこび」モノローグ

安倍圭子 / 道パラフレーズ～マリンバソロのための～

《「愛のよろこび」モノローグ》この作品は、民謡・童謡などをモチーフにした作品に分けられる。ジャン・ポール・マルティーニの《愛のよろこび》をもとにソロ・マリンバ作品にした編曲作品であるが、この《「愛のよろこび」モノローグ》は、レッスンの中で筆者が聞いたところによれば、作者が大学生の頃に編曲を試みた際のイメージにより近いものである。

《道パラフレーズ》この作品は、1978年『道』という作品を改編したもので日記的で心情的な作品である。『道』と同じ旋律を用いながらも、より多様なリズムが見られ、作品の表情が豊かな曲となっている。

### 【プロフィール】

松井 菜々子(まつい ななこ)

岐阜県出身。岐阜県立斐太高等学校卒業。12歳よりマリンバを始める。マリンバの他に、スティールパン "pan note paradise" に所属し様々な音楽に触れている。これまでにマリンバ、打楽器を上休場俊子、高田亮、スティールパンを夏音各氏に師事。